

視覚障害者等の読書環境について考えられる課題

1 視覚障害者等の読書環境について考えられる課題

国基本計画(参考資料2)や「視覚障害者等の読書における技術的な課題等に関する調査研究」(参考資料3)等から、視覚障害者等の読書環境については以下のような課題が考えられます。

- (1) アクセシブルな書籍等の出版点数が少ないこと。また、小説や文芸作品が多く、専門書や実用書は少ない。
- (2) 普及してきている電子書籍については、すべてが音声読み上げ可能ではなく、アクセシブルな書籍等にあたらぬものが少なくない。
- (3) 読書支援機器は高額な製品も多く、助成がない場合の個人での購入は負担がある。
- (4) アクセシブルな書籍等や公立図書館の障害者サービス、視覚障害者センター、サピエ図書館のサービスが、当事者・支援者にも十分知られていない。
- (5) アクセシブルな電子書籍等やサピエ図書館を利用するための ICT 機器を使いこなせない人もいる。
- (6) 高齢化や社会環境の変化により点訳・音訳ボランティアが減少し、ボランティアが不足している。